

1 補作・色彩設定の検討



校章原案

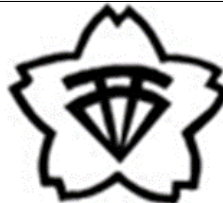
(1) 考えられる補作 (例)

- ・ 中央の「南」の文字 (原案は明朝体)
 - ▶ ブロック体にする／デザイン化する など
- ・ 縁取りの追加・調整
 - ▶ 桜の輪郭に線を加える
- ・ 簡略化 (細かすぎる線や装飾を減らす)
 - ▶ 桜の左右にある翼の横線の数

(2) 色彩設定

- ・ 配色例は第 10 回委員会配布の「参考資料 校章の補作結果」に掲載
- ・ 校章、市章、企業ロゴ等では、色数は 2 ～ 3 色以内とする例が多い

2 原案のもととなった校章

南方小	西郷小	東郷小
 「南」は町章。「小」の形は、鳥のはばたく姿をかたどり、南小の子供らが、大空めがけて雄々しくはばたく鳥の如く社会に雄飛して、持てる可能性を余すところなく発揮することを祈る。＜南方小 HP 掲載文を一部改変＞	 校木は「さくら」である。校庭に並ぶさくらの木をシンボルとして大切にしている。そのさくらの花びらを型取り、西郷小の「西」をデザイン化したものである。＜学校要覧より＞	 昭和 35 年 9 月制定。 由来不詳。

3 (仮称) 米山小学校の例

	①応募作品	②校章原案	③校章	
米山小(R10)				
南方小(R11)			カラー版	モノクロ版

補作
色彩設定

1 原案作者の説明

いままでの3つのしょうがっこうのでざいんをあわせてみました。

2 案文(たたき台)

①	この校章は、南方小学校、西郷小学校及び東郷小学校の三校の校章に用いられていた意匠を基に、新しい南方小学校の象徴として構成したものです。	◀ 導入
②	中央に大きく配した「南」の文字は、新しい学校名を端的に示すことで、 <u>分かりやすく親しみやすい校章となるよう意図したものです。</u>	◀ 「南」の説明 投票した児童のコメントに「わかりやすい」という記述が多かったことを踏まえた。
③	外形には、西郷小学校の校章に通じる桜の花を取り入れました。 <u>地域に親しまれてきた桜に、新しい学校の始まりと、子どもたちが希望をもって新たな一歩を踏み出す姿を重ねています。</u>	◀ 「桜」(西郷小)の説明 連想語 春／新しい出発／健やかな成長 ／花開く／地域性／生命力／個性／調和／集う／希望
④	桜の左右に広がる意匠は、東郷小学校の校章に由来する鳥の翼です。大空へ羽ばたく翼の形に、 <u>子どもたちが自らの可能性を広げ、未来へ向かってのびやかに成長していく姿を重ねています。</u>	◀ 「翼」(東郷小)の説明 連想語 羽ばたく／飛躍する／可能性を広げる／力強く進む／未来／成長／飛躍／自由に／のびのびと
⑤	また、全体を支え包み込むように描かれた外周は、南方小学校の校章に用いられている「小」の字の図案を生かしました。これは、 <u>子どもたちが地域に見守られ、支えられながら成長していくことを示したものです。</u>	◀ 「小」(南方小)の説明 意味づけ：地域の支え 地域に見守られ育つ児童
⑥	三校それぞれの象徴を一つに結び合わせたこの校章は、各校の歴史と伝統を受け継ぎながら、新しい南方小学校の歩みが始まることを表しています。	◀ 結び 三校の象徴の継承と統合、新生

南方地域の小中学校の校旗

資料 2 - 3
南方開準 12

南方小学校



西郷小学校



(ステージ幕)

東郷小学校



南方中学校

